

車内事故防止キャンペーンについて

～車内事故防止のお願いと啓発活動について

日頃より、西武バスをご利用くださりまして、誠にありがとうございます。西武バスでは、グループ会社2社(西武観光バス・西武総合企画)とともに日本バス協会やその他バス事業者などと連携し、本年も7月1日から31日までの間、『車内事故防止キャンペーン』を実施いたします。

車内事故(バス発車時、走行中、停車時にお客さまが転倒される)は依然として多発しており、状況により、骨折等の重傷や後遺症に繋がるケースもございます。当社では、乗務員教育(案内、確認、発進を区切って実施等)等を通じて、安全運行に努めておりますが、他車の割り込みやすり抜け、思わぬ飛び出しによる急ブレーキを余儀なくされ、車内事故に繋がるケースも複数件ございます。

つきましては、下記についてお守りいただき、車内事故防止にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、自転車等をご利用の方におかれましては、急ブレーキを踏む原因となるすり抜け等はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。



～安全なバスのご利用方法～

《一般乗合バス》

- ✓ つり革、手すりにしっかりとおつかまりください
- ✓ 走行中の席の移動はおやめください
- ✓ バスが完全に停車しドアが開いてから席をお立ちください

《貸切・高速・空港連絡バス等》

- ✓ シートベルトの着用が法令により義務づけられています。
- ✓ お客様の安全のため**シートベルトを必ずご着用ください**

～当社啓発活動について～

◇ステッカー・車内ポスターのデザイン変更



座席ステッカー



床面ステッカー



車内広告枠ポスター

◇当社ルートマップに「事故防止のお願い」を追加 (※7月発行)

バスご乗車のお客さまへ **車内事故防止のお願い**

全国の路線バスで発生する事故のうち約3割が**車内事故**(発進時、走行中、停車時の転倒)です。道路上の一般車の割り込みや自転車等による思わぬ飛び出しにより急ブレーキを余儀なくされ、車内事故に繋がるケースが発生しております。

日々、安全運行の徹底には努めておりますが、お客さまにおかれましても、事故防止として**安全のためにできること**について、お守りくださいますようお願いいたします。

安全のためにできること(バス利用時の注意事項)

危険! お立ちの場合

つり革、手すりに**しっかりと**おつかまりください

重傷事故例! ■スマートフォン等を操作し、つり革、手すりにつかまらず転倒

危険! お座りの場合

バスが完全に停車し**ドアが開いてから**席をお立ちください

重傷事故例! ■携帯電話等をバス停到着と勘違いして車立ち転倒
■発進と同時に席の振り合いをして転倒

危険! 走行中の場合

走行中の**車内移動は**おやめください

重傷事故例! ■白の光が眩しい、知り合いが乗車したなどの理由で移動して転倒

詳しくはこちらから▶

車内事故防止のお願いについての詳細
西武バス

バス車内事故防止のための啓発動画
国土交通省

地域の皆さま・お客さまへ **車外事故防止のお願い**

バスには、**運転席から目視で確認できない範囲の「死角」**が一般車に比べて多く存在しております。死角箇所は車内外の事故に繋がりがやすく、特に**発進間際の「駆け込み乗車」や自転車・バイク等の「すり抜け」**は死角部分が多く、運行中の危険な事例が増加しております。そのため、死角の事故防止を徹底しておりますが、運転士は車内外の広範囲の安全確認を瞬時に行っており、更なる防止には皆さまのご協力が不可欠です。

安全のためにできること(バス周辺の注意事項)

危険! ご乗車のお客さまへ

駆け込み乗車やバス直前・直後の横断はおやめください

バスの前後は**死角のため**近づかないでください

危険な事例 ■バスが発進する直前、乗車するため急いでバスの前方・後方を横断し動き出したバスの車体を叩くなどして、無理に乗車しようとする行為

危険! バスの周辺を走行される方へ(バイク・自転車・キックボードなど)

バスの真横や直前を無理に走行しての**すり抜けや追い抜きは**おやめください

乱横断等で急ブレーキを踏み、車内事故になるケースが増加しております。場合によっては、**自転車等の運転者にも責任が生じる場合**がございます。

危険な事例 ■所信号待ち等でバスの前方へ行くため、無理に真横や直前を走行
■歩道から車道、対向車線へ乱横断する
■停留所に停車中のバスの左側を走行し、両車のお客さまと接触

バス死角についての詳細情報はこちらから▶

バス死角について
西武バス

バス死角の動画
西武バス

◇事故防止ラッピングバスを運行(車内事故防止・死角を視覚化プロジェクト)



◇「死角を視覚化プロジェクト」ウェットティッシュを街頭にてお客さまに配布

→バスの死角を沿線の方に周知し、車内事故の発生原因の一つである飛び出し等の危険性を周知



◇貸切バス等においてシートベルト着用案内を強化

- ①バス停、車内ビジョン等に掲出
- ②乗務員が直接お客さまにご案内
- ③お客さまにシートベルト着用案内を実施する旨、運行前自動放送により乗務員に周知



◇国土交通省よりご提供された落語家林家たい平さんによる「車内事故防止車内放送」を展開

※順次全営業所展開 ※2027年3月31日まで

◇継続している取り組み



◇その他

①国土交通省「バス車内事故防止のための啓発動画」

[自動車：バス車内事故防止のための啓発動画 - 国土交通省](#)

URL→https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000161.html



②公益社団法人日本バス協会「バスの安全への取組」

[バスの安全への取組 - NBA 公益社団法人 日本バス協会](#)



③西武バス「車内事故防止のお願い」

<https://www.seibubus.co.jp/news/uploads/seibubus-anzen.pdf>



『安全のためにできること(利用される際の注意事項)』

【車内事故に繋がる危険な事例】

- 《発進時》 ① **スマートフォンやゲーム機器等の操作**でつり革や手すりにおつかまりにならない。
② 発進と同時に**席の譲り合いをされ**、席をお立ちになる。
- 《走行中》 ① 日の光が眩しい、知り合いがご乗車された等の理由で席を移動される
② **他車の割り込みや飛び出し**により急ブレーキを踏み車内が大きく揺れる
- 《停車時》 ① 信号待ちや横断歩道での停車を**バス停に到着したと勘違いされ**席をお立ちになる。
② **バス停に着く前**に(バスが完全に停車しドアが開く前)席をお立ちになる。

【車内事故防止のためにできること】

- 《お立ちの方へ》
- **必ずつり革や手すりにしっかりとつかまりください。**(スマートフォン操作時等も)
 - ドア付近は大変危険ですので黄色の床部分にはお立ちにならないでください。
- 《お座りの方へ》
- 走行中の席の移動(両替など)は大変危険ですのでおやめください。
 - **バスが完全に停車しドアが開いてから席をお立ちください。**

車内事故防止と安全運行には皆さまのご理解とご協力が不可欠です。『安全のためにできること』についてお守りくださいますよう改めてお願い申し上げます。